

その時 その 議会は

広田から幸田

1908（明治41）年11月1日、「幸田」という地名が誕生して今年で満100歳を迎えます。これを記念し、「こうた」の歴史を議会の記録などにより、振り返ってみたいと思います。

1908（明治41）年9月11日、東海道本線「幸田駅」が開業しました。

当時、芦谷信号所として開業していましたが、駅に昇格することに伴い、駅名を村名の「広田」とすることを鉄道庁に申請しましたが、当時の鉄道庁所轄の駅として、すでに東北地方に広田駅というのがあり、それとの混同を避けるため同音異字の「幸田」という名がつけられたと言われています。しかし、鉄道の駅名と村名が違っていたのでは、



明治41年 幸田駅の開業式典のようす



駅前再開発事業に取り組んでいる現在の幸田駅



開業数年後の幸田駅前付近

（特集記事の写真は、足立とし様にご協力をいただきました。）

社会的に誤解を招き、かつ幸田という字が、そのイメージとして、当時の村民から好感をもって受けとられたこともあり、村名を幸田に改めた方が良いという機運が起ころしました。こうして広田村は、幸田駅開業とほぼ時を同じくして「幸田村」に村名を変更したものです。

幸田100歳

合併

村議会では否決

広田村は、1906（明治39）年に坂崎・相見・深溝の3村が合併して誕生しています。当時の村議会議事録や意見書を見ると、深溝村の合併に関する意見では、村会においては否決をされているにもかかわらず、村長が是なりと答申しており、いかに当時の村長の権限が大きく、村議会の力が弱かったかを示しているといえます。また、坂崎村の意見書に「御諮問ノ通り強制執行サレ又訴願ノ途モ無之……云々」とあるように、県の政策として上からかなり強制的な合併が行われたものであったようです。

（参考資料：幸田町議会史より）



合併当時の広田村役場庁舎

合併前後の村の世帯と人口

	村名	世帯数(戸)	人口(人)	備考
合併前	坂崎村	301	1,454	1903(明治36)年
	相見村	619	3,095	1902(明治35)年
	深溝村	591	2,955	1904(明治37)年
合併後	広田村	1,501	8,391	1907(明治40)年

告示第三七〇号
 額田郡広田村ヲ明治四十一年十一月一日ヨリ、幸田村ト改ム。
 右明治二十三年法律第七十七号ニ依リ処分ス
 明治四十一年十月二十八日
 愛知県知事
 深野一三

村名改称のときの村議会の議案と愛知県の告示

明治41年9月14日提出された議案の中では、村名の読み方が「カウタ」（こうた）となっています。

